

(案)

# 京丹波町地域福祉計画

きずなの輪を広げ  
地域で培う京丹波の地元福祉力



概要版

## 地域福祉計画とは

～地域における福祉のしくみづくりを行うための計画です～

○**地域福祉**とは、京丹波町で暮らす、すべての人がいきいきと心豊かに安心して生活することができるように、地域住民を主体として、住民自治組織や行政、社会福祉協議会等の福祉関連団体に加え、企業や商店、教育機関といった地域社会を構成する多様な主体が協力しあい、ともに支えあい、助けあうことのできる地域社会を築いていこうとする取組やしきみづくりのことです。

○**地域福祉計画**は、「自助」「共助（互助）」「公助」を基本として、地域における多様な主体が、それぞれの役割の中でお互いに力を合わせる関係をつくり、地域における福祉のしくみづくりを行うための計画です。

**自助**：個人・家族が**自発的に生活課題を解決する力**。

**互助**：個人的な関係性を持つ人同士が助けあい、生活課題を**お互いが解決し合う力**。

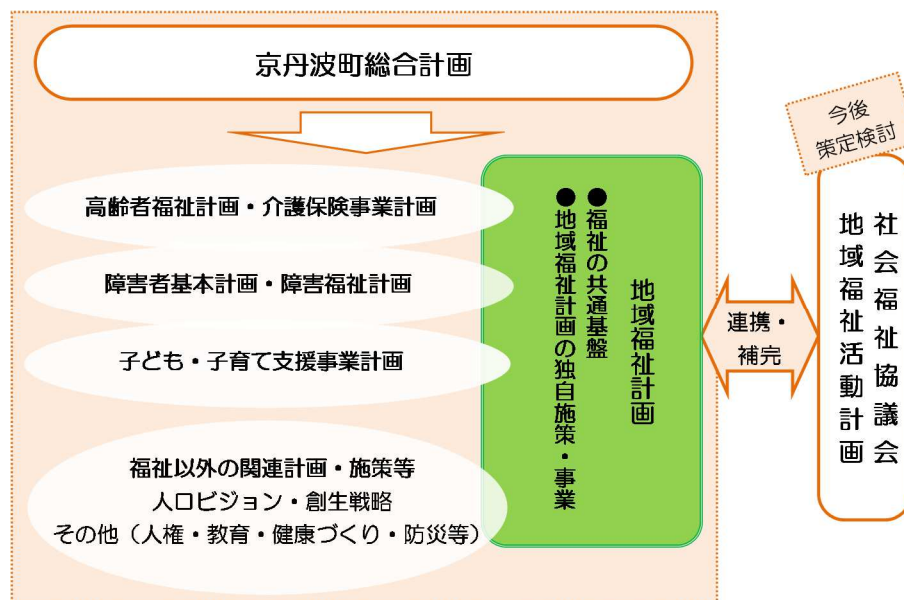
**共助**：社会保険制度、医療や年金、介護保険等の**制度化された、相互扶助**。

**公助**：自助・共助（互助）では支えることができない問題に、**最終的に対応する制度**。

## 京丹波町における地域福祉計画

～従来の対象者別の福祉計画の枠組みを越えた内容を扱う計画です～

○**本町における地域福祉計画**は、福祉の計画である一方、まちづくりや教育・生涯学習といった従来の福祉の枠組みを越えた内容を扱う計画であり、総合計画を踏まえつつ、個別の法定計画等を横断的な視点から補完することにより、多様な福祉施策や福祉サービス、地域住民等による福祉活動を相互につなぐ役割を果たす計画として位置づけられます。





## 7つの主な課題と解決の糸口

○本計画の策定にあたって、実施した様々な調査・分析を踏まえた、地域の特性と課題、地域の多様な福祉資源を踏まえた、7つの主な課題と解決の糸口は以下のとおりです。

課 題	課題の具体的な内容と解決の糸口
①総合的な視点による新たな支えあいのしくみの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇人口の規模・構造を踏まえた地域のあり方、サービス提供のしくみの検討</li> <li>◇障がいの有無等に関わらず、地域全体で互いに支えあうための施策・事業の推進</li> </ul>
②担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇I(アイ)ターン等の移住者が地域の活動に参加しやすいしくみの検討</li> <li>◇若い世代の地域活動・団体活動への参加促進を含めた、後継者の育成</li> <li>◇専門職の人材育成</li> </ul>
③地域における支えあいの基盤の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の間人関係の良さを継承していくためのしくみの検討</li> <li>◇日常的な声かけ等、住民同士が理解し、助けあう意識の醸成</li> <li>◇地域の強みである「地元力(人間関係の良さ、豊かな自然等)」を課題解決に活用</li> </ul>
④だれもが参加できる活動の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇活動への参加の要請から活動の「場づくり」への転換</li> <li>◇元気な高齢者が能力を発揮するための「場づくり」</li> <li>◇生活の不便さをなくすために、地域や住民が取り組むことのできる活動の検討</li> <li>◇高齢者から若者まで、だれもが参加でき、楽しめるイベントの開催により、地域活動への参加を促進</li> </ul>
⑤多様な主体間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇分野・団体を越えた連携による課題解決の手法の検討</li> <li>◇旧地域それぞれの良さを、京丹波町の良さとして打ちだし、課題解決に活用</li> <li>◇災害時要援護者について関係団体等への必要な情報提供</li> <li>◇人材を含めた多様な地域資源をつなぎ、課題解決に活用</li> <li>◇地域と教育が連携し、伝統文化を学校教育に取り入れることで、郷土愛を醸成</li> </ul>
⑥地域の様々な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇生活困窮者への対応</li> <li>◇地域活動への参加も踏まえた交通手段の整備</li> <li>◇町営バスから自家用車の活用まで、幅広い観点による交通の課題解決手法を検討</li> <li>◇空き家の活用</li> </ul>
⑦情報発信の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇行政サービス・福祉サービスの内容や窓口の存在の周知の工夫</li> <li>◇ボランティア関連情報等も含めた広報誌等の情報発信の工夫</li> </ul>

## 基本理念(ビジョン)と理念実現のための基本目標

○本計画と並行して策定が進められた「第2次京丹波町総合計画」の内容や、地域の課題・特性を踏まえ、本計画のめざす基本理念(ビジョン)を以下のように設定します。

# きずなの輪を広げ 地域で培う 京丹波の地元福祉力

～基本理念の実現に向けた3つの基本目標を設定～

### 基本目標1

地域福祉の要となる“担い手”を育てる

- ◇子どものうちから日常的に地域とのつながりをつくる機会の提供
- ◇それぞれのライフステージにおける意識の啓発
- ◇地域の多様な団体の育成・支援

### 基本目標2

きずなの輪を広げ“地元福祉力”を培う

- ◇共通の課題や目的を持った地域・団体が、それぞれの分野を超えて連携
- ◇住民パワーの受け皿となる多様な“場づくり”

### 基本目標3

多様な活動を支える“福祉基盤”をつくる

- ◇多様化する地域の福祉課題に対して、それぞれの担う役割を明確化、効果的な対応を推進
- ◇福祉や地域に関連する様々な情報発信と

## ～基本目標 1 地域福祉の要となる“担い手”を育てる～

### 1 支えあえる人の育成

#### 【数値目標】

目標指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 38 年度)
「福祉に関心がある」18 歳以上の住民の割合	83.5% ※アンケートより	85.5%
「福祉を必要とする人は、行政と住民が協力しながら、地域で支えあうべき」と考える 18 歳以上の住民の割合	60.9% ※アンケートより	70.0%

#### 【主要施策の内容】

- (1) 住民の支えあい意識・価値観の醸成
  - ①住民の支えあい意識の醸成
  - ②子どもたちの支えあい意識の醸成
  - ③郷土愛を育むふるさと教育の推進
  - ④寄附文化の醸成
- (2) 地域の様々な活動を担う人材の育成・支援
  - ①移住者・定住者が地域に溶け込みやすい受け入れ態勢の検討
  - ②ボランティア等の育成
  - ③新たな支えあい活動の担い手の育成
  - ④町職員の育成
- (3) 地域のリーダーの育成・支援
  - ①リーダーの発掘
  - ②リーダーの育成
- (4) 専門的な人材の育成・支援
  - ①資格取得へ向けた支援

### 2 活動的で頼れる地域団体の育成・支援

#### 【数値目標】

目標指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 38 年度)
「ご近所や地域の方からの支援がある」18 歳以上の住民の割合	53.8% ※アンケートより	65.0%
「現在地域活動をしている」18 歳以上の住民の割合	49.0% ※アンケートより	60.0%
「ボランティア活動に参加したことがない」18 歳以上の住民の割合	38.9% ※アンケートより	30.0%
福祉ボランティア団体数	52 団体	64 団体

#### 【主要施策の内容】

- (1) 地域コミュニティの育成・支援
  - ①住民自治に向けた意識の高揚
  - ②住民自治組織の育成・支援
- (2) 社会福祉法人、ボランティア団体等の育成・支援
  - ①福祉関連団体への積極支援
  - ②ボランティア団体の魅力向上、効率的な運営に向けた支援
  - ③社会福祉協議会のコーディネート活動支援
  - ④新たな地域活動組織の発掘と支援

## ～基本目標2 きずなの輪を広げ“地元福祉力”を培う～

### 1 地域のきずなの輪を広げる多様なネットワークの構築

#### 【数値目標】

目標指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 38 年度)
地域包括支援センターの相談件数	97 件	100 件

#### 【主要施策の内容】

- (1) 地域間・団体間の連携の推進
  - ①地域間連携の推進
  - ②団体間連携の推進
- (2) 分野・主体を超えた多様な連携の推進
  - ①地域包括ケアシステムの構築
  - ②一体的なサービス提供体制づくり
  - ③地域ぐるみの子育て力の向上

### 2 地域のきずなを深める“場づくり”

#### 【数値目標】

目標指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 38 年度)
地域の居場所づくり	72 会場	95 会場 (H34)
シルバー人材センター会員数	311 人	370 人 (H34)
地域の教科書作成件数	0 件	12 件 (H34)

#### 【主要施策の内容】

- (1) 世代や立場に関わらずだれもが集い、活躍できる“場づくり”
  - ①交流の場づくり
  - ②まちづくりのアイデアが生まれる場づくり
  - ③高齢者等の活動の出番づくり
  - ④交流・活動拠点の整備・充実
- (2) 地域の特性や風習を学び継承するための“場づくり”
  - ①地域の文化・風習を学ぶ場づくり

## ～基本目標3 多様な活動を支える“福祉基盤”をつくる～

### 1 地域の多様な福祉課題への対応

#### 【数値目標】

目標指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 38 年度)
自主防災組織数	5 団体	10 団体 (H34)
地域住民乗合自動車の運行地域数	0 地域 (H28)	2 地域 (H34)
通学バスの無償化	0%	100% (H34)
循環バスの運行	0 本/日	3 本/日 (H34)

#### 【主要施策の内容】

##### (1) 多様な見守りニーズへの対応

- ①小地域ネットワークの構築
- ②地域における見守り体制の構築
- ③多様な主体の連携による見守りの充実
- ④見守りによる防犯力強化

##### (2) 地域における防災力の向上

- ①消防団組織の充実
- ②地元防災力の向上

##### (3) ダイバーシティ（多様性）に対応した環境づくり

- ①生活環境のバリアフリーの推進
- ②人間関係における心のバリアフリーの推進

##### (4) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境づくり

- ①地域公共交通ネットワークの整備
- ②買い物環境の向上
- ③環境美化活動の推進

##### (5) 生活困窮者への支援

- ①子どもを中心とした貧困対策
- ②生活困窮者への幅広い支援

### 2 情報発信と相談のしくみづくり

#### 【数値目標】

目標指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 38 年度)
「困ったときに役場の相談窓口 に相談する」18 歳以上の住民の割合	7.2% ※アンケートより	20.0%
「福祉サービスの情報を広報誌から 入手する」18 歳以上の住民の割合	44.3% ※アンケートより	60.0%
京丹波町ケーブルテレビの住民・ 地域関連のコンテンツ数	99 件	130 件

#### 【主要施策の内容】

##### (1) 住民・地域の声の幅広い把握

- ①世話やきマスターの確保
- ②総合相談窓口の設置の検討
- ③広聴の活用

##### (2) 必要とする人に届く情報発信の創意工夫

- ①情報通信ネットワークの強化
- ②情報共有のシステムづくり
- ③京丹波町ケーブルテレビの活用
- ④広報の充実

## 計画の推進体制

○計画の推進については、住民や地域の多様な団体、行政といったそれぞれの主体が、自助・共助（互助）・公助の中で担うべきそれぞれの役割を踏まえ、取組を進めていくとともに、そうした取組を評価・検証する仕組みを構築します。

